

黒い染まる百合2

アルラウネ堕ちした幼馴染に
身体を蝕まれていく話







ここまで熱が引けば
もう安心だ



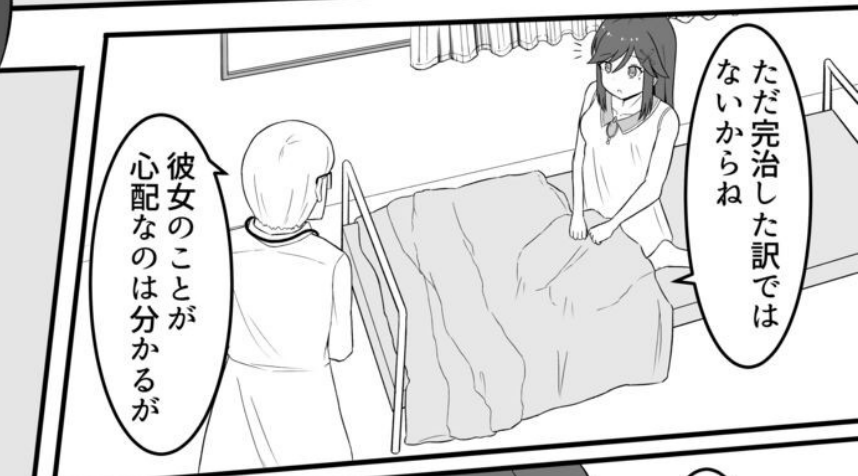
うむ…

だいぶ良くなった
みたいだね



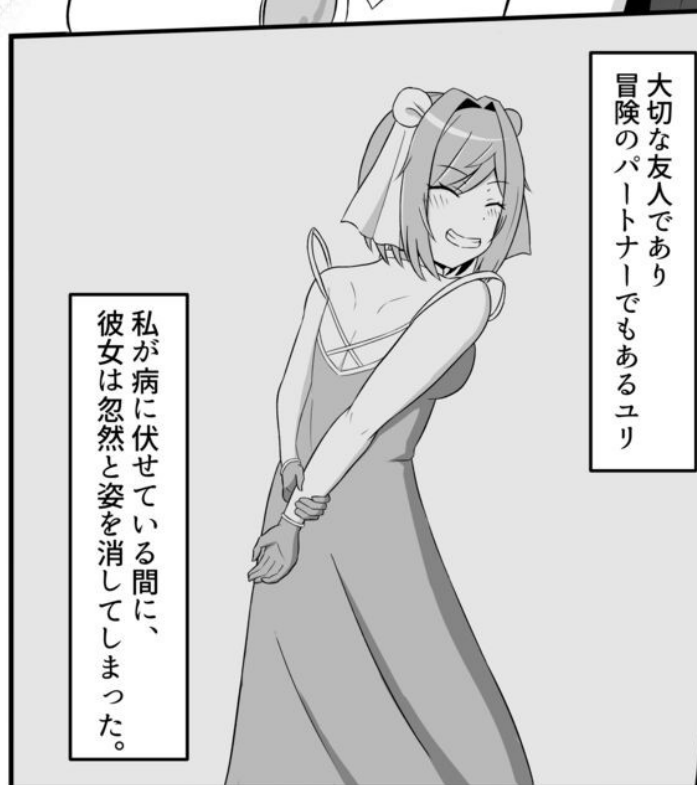
ありがとうございます
ございます

先生



ただ完治した訳では
ないからね

彼女のことが
心配なのは分かるが



大切な友人であり
冒険のパートナーでもあるユリ

私が病に伏せている間に、
彼女は忽然と姿を消してしまった。



しばらくは安静に
しておいた方が良いでしょう

…はい

先生の話では、突然の高熱で倒れた私を治すため、

ユリが危険な洞窟から薬草を採取してきてくれたとのことだった。

しかし薬草を預けた後、

「私の事は探さないで欲しい」という言葉を残して、

彼女はそのまま姿を見せなくなってしまうのだという。

そうしてユリが消息を絶つてから

十日が経過した。

ここが先生の言っていた場所……

きつと何か手がかりがあるはず



漂つてる香りのせいで
頭が回らなくなる



なんなの
この洞窟…

はぁ

はぁ



オ
オ

オ

オ

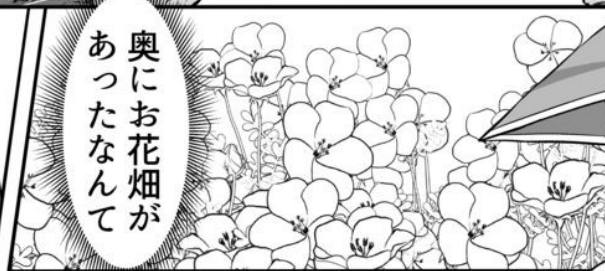


身体もおかしく
なってきたるし、

もじ

ズクン

長居はまずいかも



奥にお花畑が
あったなんて



わあ…!!
すごく綺麗な場所

…?
こんな所に人?

どうして…



ユリちゃんの
想い人ちゃんじゃない



プロテクト!



あら、あなた



しまった!
後ろにも敵が



こんなところにまで
来てくれるなんて



ヒト型の
アルラウネ!?

なんで
ユリのことを



ミーナ



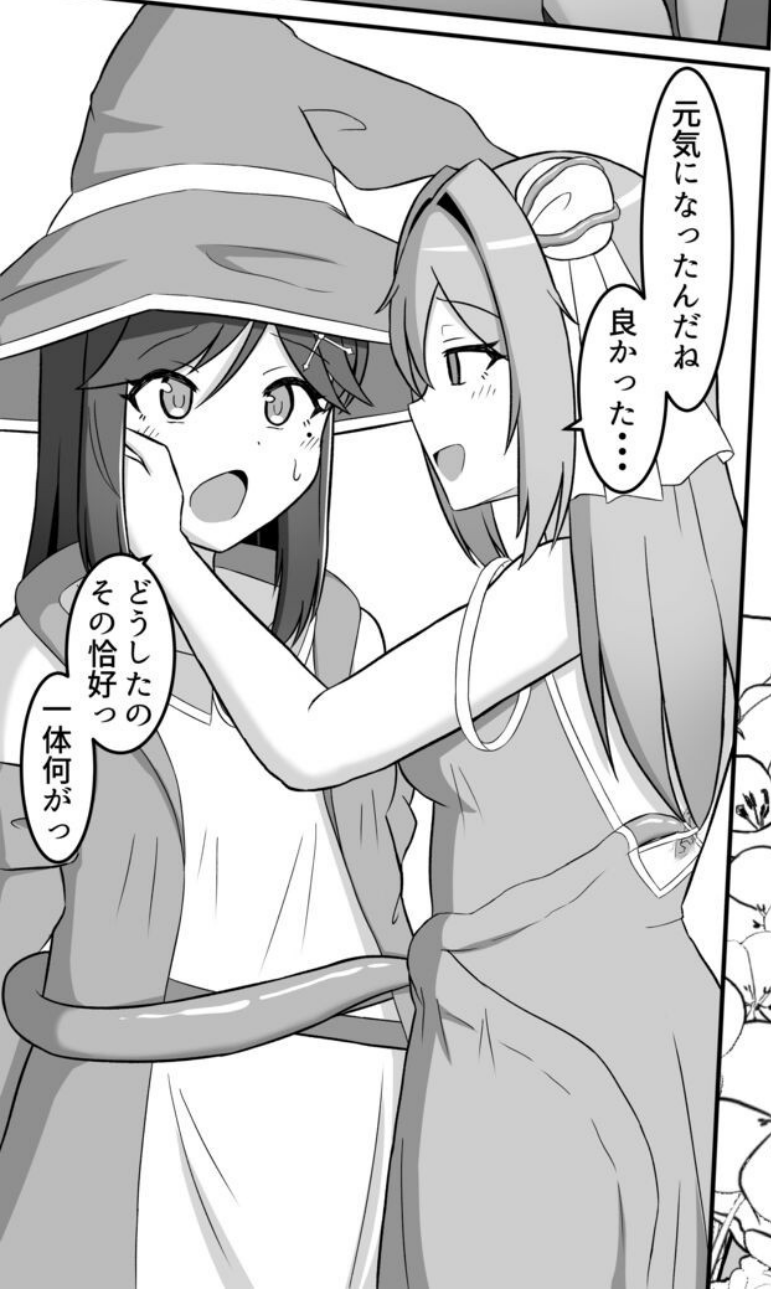
良かったわね



う……そ……
ユリなの？

どうして
来ちゃったの？

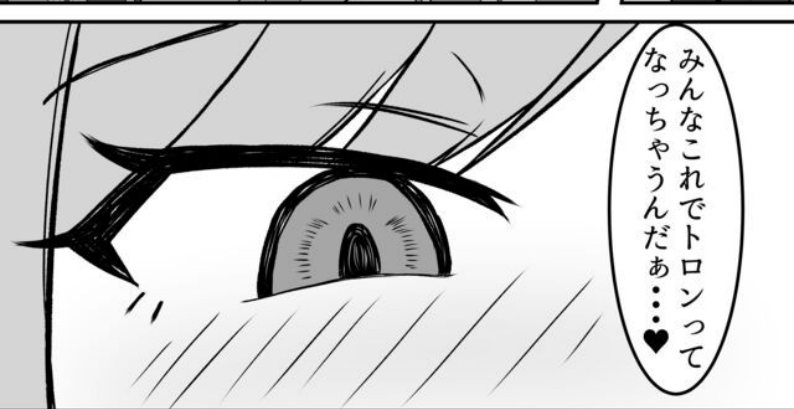
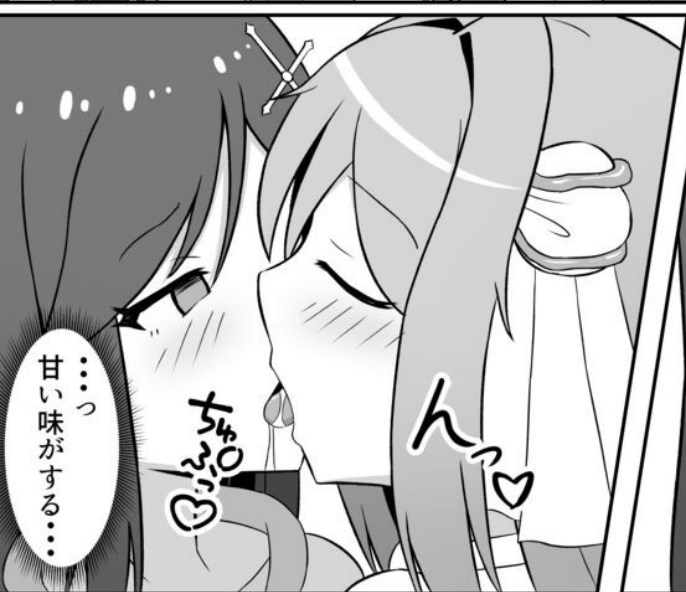
探しちゃダメって
言ったのに



元気になったんだね
良かった……

どうしたの
その恰好っ
一体何がっ





私の知ってるユリは
こんなことしないわ!

どうしちゃったの?



この子の
気持ちも知らずに...

ずっと貴女のことを
想っていたのよ?



仕方ないわね
ユリちゃんのために

ひと肌
脱いじゃおうかしら♪

はあ



もしかして
あんたが...

一体何をしたの!?

あらあら



パクンッ

なにこれっ

!!?

真っ暗で何も
見えないっ

それに
この匂い...



お腹の下が
どんどん熱くっ

はあ

はあ

ゾク...♡

ここにくるまでに
漂ってたのと同じ...!



ギョッ





ぶつくりしてて
かわいい乳首...♡

どう？私の芳香を
直に吸った感想は

シアワセな
気分でしょう♡

はっ♡

はっ♡

スル...

しゃるっ

はっ♡

はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡

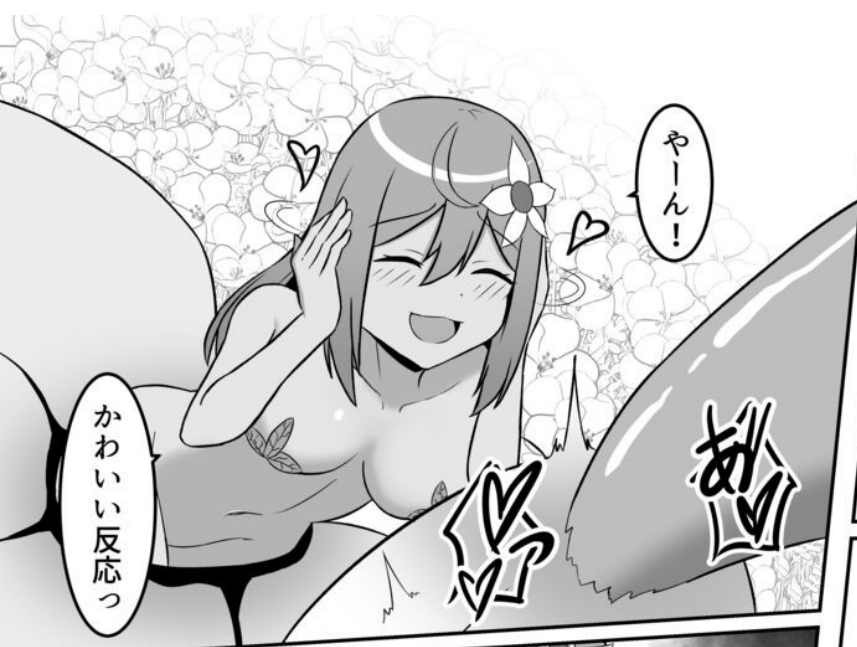


あら、体はもうすっきり
できあがっちゃってるわね♡

たくさん嗅いでもっと
キモチよくなりましょうね♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡



やーん!

かわいい反応っ



触手もいろんな動きができるのよ

優しく回りをなでてあげたり...



もっと貴女の声聞かせて♡



先っぽだけいじってあげたり♡

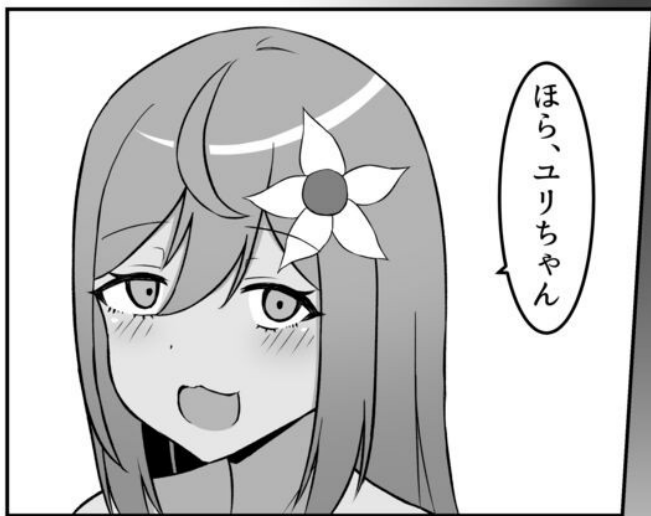


体が勝手に反応しちゃうっ♡



こんな化け物に犯されてるのに

えっ...!!





…ミーナ

目を覚まして…!!

っ…!!
だめっユリ!



わたしね、こんな姿になっちゃったけど

今すぐく
幸せなんだ



っ
ユリ…!!



さつきはごめんね
ミーナ

ビックリしちゃったよね



え…

この体には人間の精力が必要だって知って



最初はすごくシヨックだった

他のヒトの命を糧にして生きないといけないなんて...



でもね



初めてソレを食べたとき、全身に幸福感が駆け巡って



そんな葛藤なんて消し飛んじやったんだ...



その時身体に刻まれた灼けるような快楽が忘れられなくて



仕方がないことなんだから言い訳しながらも

私は進んで行為を繰り返すようになっていったの

気づけば食事をするかのようにそれが当たり前になっていて



私はもうヒトじゃないんだってことと



その時分かったんだ



これが今の私のシアワセなんだってことが...



後悔はしてないよ

ミーナを助ける
ことができたんだもの

それに何よりも

自分の気持ちに
気づくこともできたから

わたしね、
ミーナのことが好きなの

ずっと
好きだったんだ

こんな身体に
なってるから

いつもミーナのことを
考えてたんだよ

ユリ…?

だから会いたくなかった

次会ったら自分が
抑えられないって分かってたから

シュル…

でもね

ミーナから私の方に
来ちゃうんだもん

サッ…

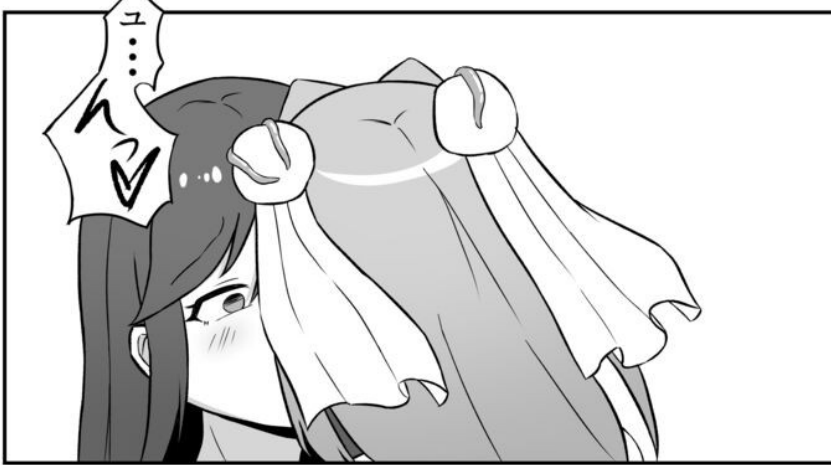
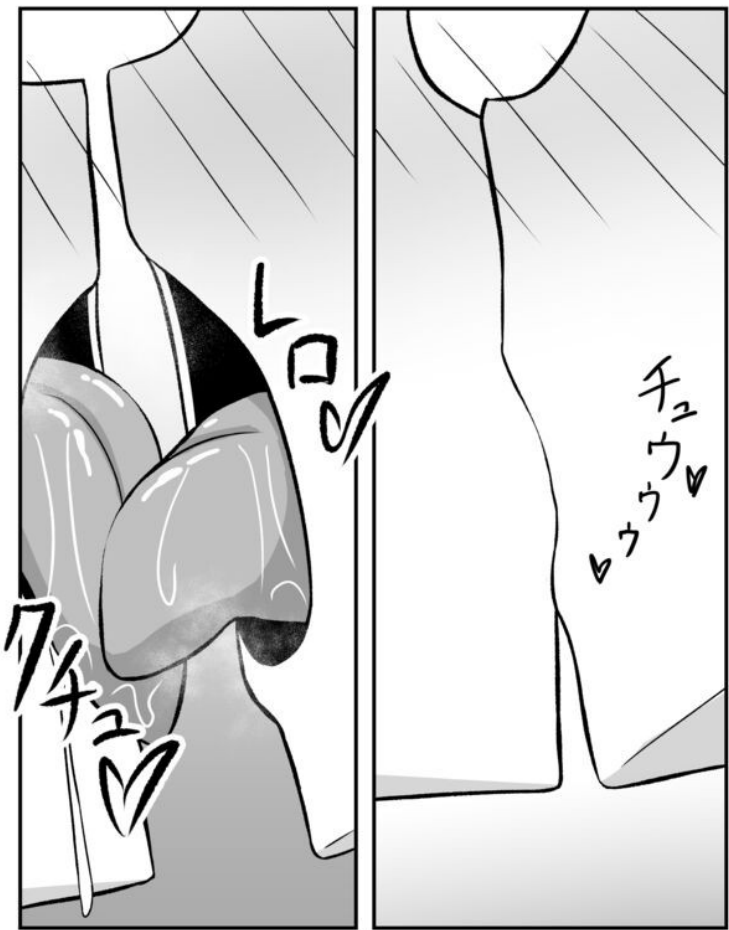
これはもう仕方ないよね

だからね

これからも

ずっと一緒にいようね







ミーナがキモチよさそう
嬉しいっ♡



ユリっ

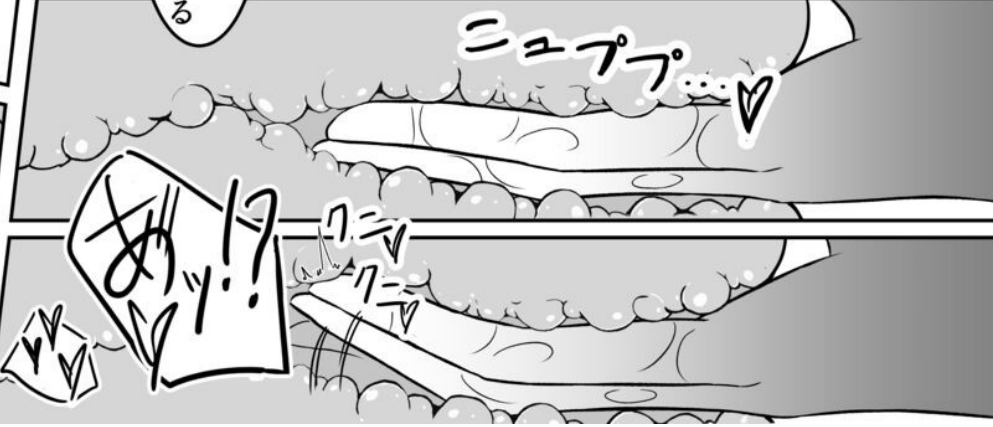
それ
おかしくなっちゃうっ

おかしくなっちゃうから
やめてっ♡



ここ
勃ってるよ…♡

中からも
いじってあげる



ニョププ…♡

あッ!?

わたしねっ

こんな事も
出来るようになったのっ

私の身体を使って

ミーナを天国に
連れていってあげる♥

乳首が
弱いんだね♥

普段からいじってたの？





隠さなくてもいいのに♡

私もよく自分で
これを使っていじってるの

触手から出る液体にも
花香と同じ作用があるみたいで

普通にするのよりも
何倍もキモチいいんだよね



い...いやっ

ミーナにも
たくさん味わって欲しいな♡

またキモチいいの
上ってきちやうっ

一緒に
さわっちゃ...

あ



こっちも一緒に
いじってあげる♡





ミーナ、わたしで
イってくれたんだ…

うれしいっ

うれしいっ ♡

ミーナっ

わたしもう
我慢できないのっ

うそ…



だからねっ



わたしのもの
全部

ミーナに
注いであげるっ ♡



あ……

これだめ……♡



もっともっと
たくさん嗅いで……♡

わたしのことだけ
考えて……♡



においがする……

あま……



ぜんぶとけて……♡



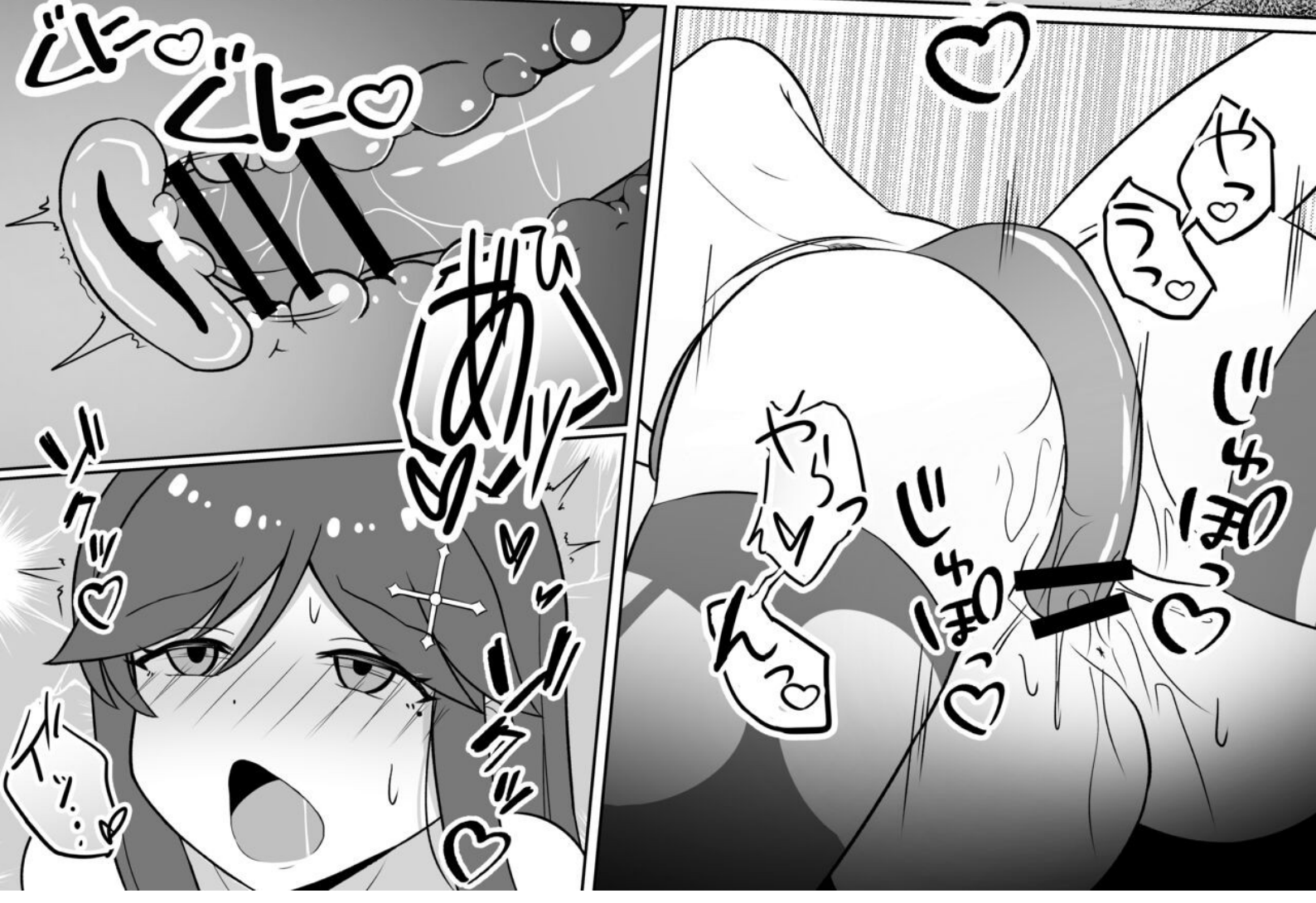
ユリからだ

む……♡

す……♡



あたまが
ぼ……として





もつとたくさん
キモチよくなるっ♡



軽く
イっちゃった？

でもまだまだ
足りないよね♡



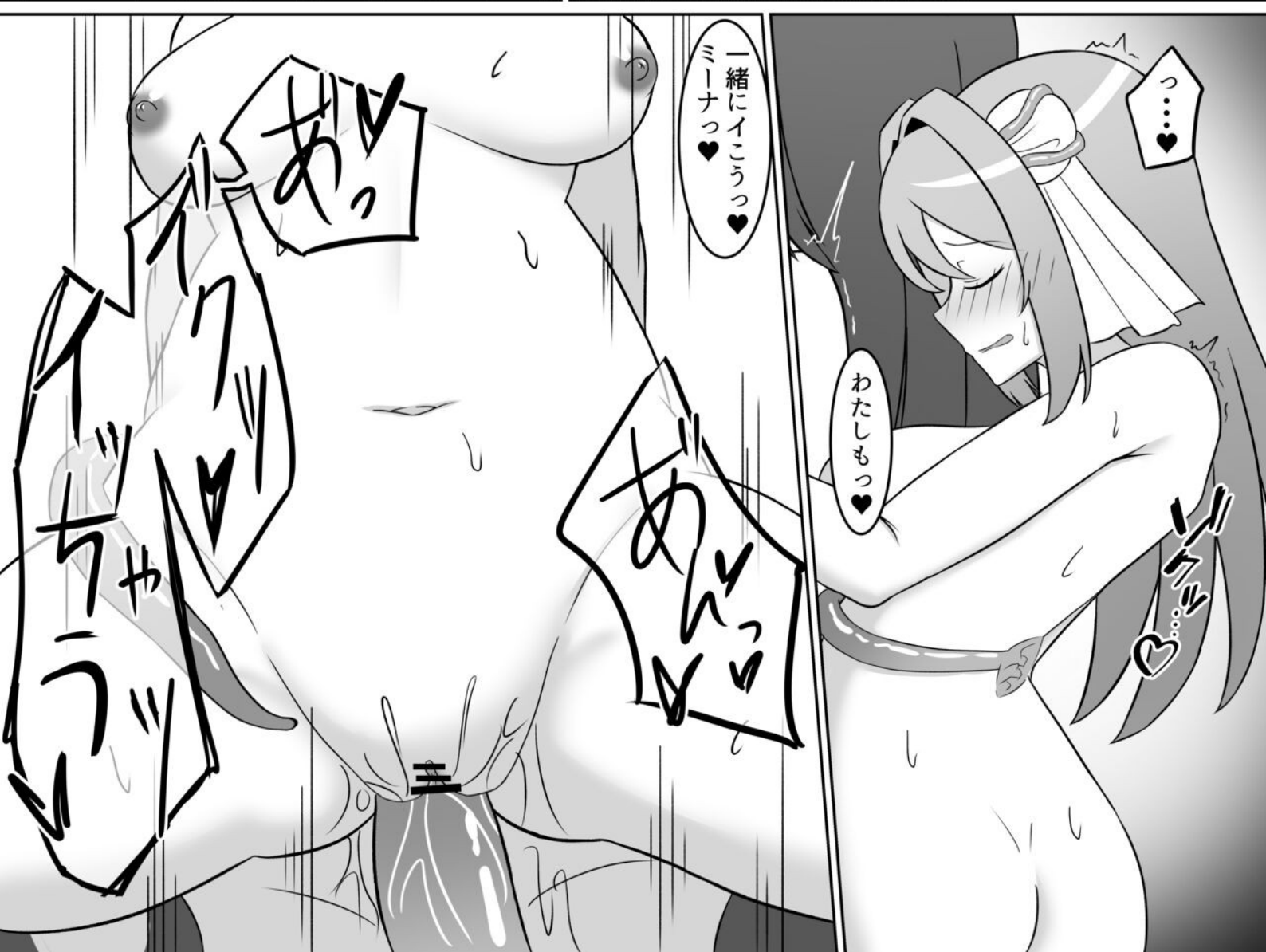
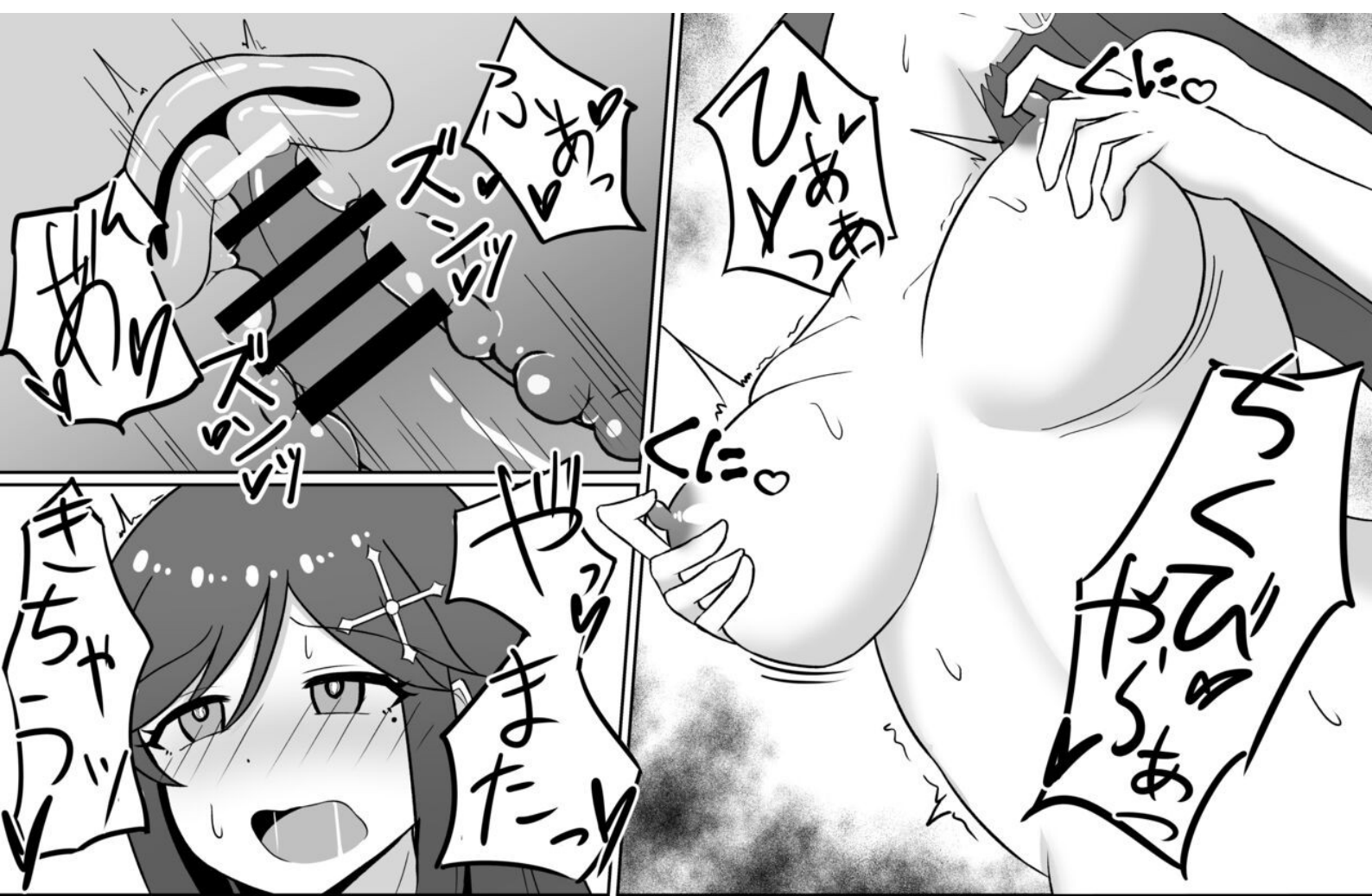
おなかキモチいいの
とまんないっ♡

もどつてこられなく
なっちゃうっ♡

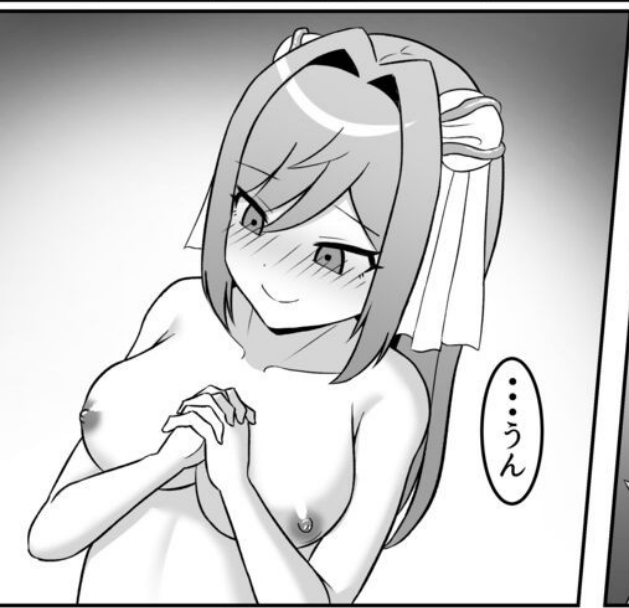


この体勢やだっ♡

っ♡







To Be Continued

■あとかき・おくづけ■

こんにちは、EPLOOV(えるふ)です。

本作をお手に取っていただき、誠にありがとうございます！

重い愛情でずぶずぶと沈められていくようなお話が書きたいなあ、と思っていたらこのような内容になりました。ユリの感情が暴走していく過程をどう描くかで結構悩んだのですが、最終的には作りたかったものにたどり着けたかなと思います。

次回でメインのお話は完結する予定です。前作に引き続き本作も想像以上に時間がかかってしまったので、次はもっと早く出したいと思っています。

・・・出せるかな。少なくとも1年後とかにはならないように進めたいです。

それでは、またどこかで！

黒に染まる百合2

～アルラウネ堕ちした幼馴染に身体を蝕まれていく話～

サークル名：Corruprotocol

作者：EPLOOV

◆Twitter◆

◇Pixiv◇



※本作品の無断転載、複製、改変、翻訳等はいかなる場合も禁止します。
Unauthorized reproduction, duplication, modification, translation, etc.,
of this work is strictly prohibited.
